

質疑応答

パンデミック初期 1 年間における情報急増の軌跡：UpToDate と DynaMed

大瀬戸貴己，鈴木孝明，島田祐衣（奈良県立医科大学附属図書館）

Q1. 細やかな作業だが、1 年間調査を継続してみたの感想は？

A1. アナログな手法だが、日に日に情報量が多く（1 回数 10 ページが 100 ページ以上に）なり、更新頻度も上がったことが物理的にも実感できた。作業自体も大変だった。

Q2. Word に張り付けるデータの検索方法は？

A2. マスクなどのキーワードを検索し、単語数を確認する。手間がかかるので、あまりお勧めできない。

Q3. 着目時機が早いですが、どういうきっかけで着手したのか。

A3. MIS37 開催を踏まえ、準備した。

Q4. UpToDate と Dynamed、いずれも高額の DB かと思いますが、比較されたのは契約継続に向けた理由等もあるのでしょうか。

A4. 契約継続のためというのも発表した理由のひとつです。調査をすることでツールに対する理解が深まり、利用者サービスに繋がられるということが大きいです。